



Title	宮津市方言における語彙の使用について
Author(s)	韓, 娥凜
Citation	阪大社会言語学研究ノート. 2016, 14, p. 12-26
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/55613
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

宮津市方言における語彙の使用について

韓 娥凜

【キーワード】 宮津市方言、方言語彙、『日本言語地図』

【要旨】

本稿は、2014、2015年度に京都府宮津市において実施した方言調査のうち、方言語彙の使用実態を報告するものである。主に『日本言語地図』の結果に基づき、宮津市における調査結果との対象を行った。調査地点は宮津市中心部の宮津地区と、宮津市の北部に位置する日置地区の2地点を選定し、方言翻訳式調査、なぞなぞ式調査、イラスト提示式調査の3つの方法を用いた面接調査を実施した。調査の結果、以下のような特徴が確認できた。

- (a) 宮津市における方言語彙は『日本言語地図』の調査結果とは異なる傾向がみられ、全体的に共通語形の使用が目立っている。
- (b) 方言語形を維持する傾向が強い項目には、人間の身体に起きる変化や感覚、動作などと関連する語彙が多かった。
- (c) 農作物の名前や道具などの語彙は、伝統的な方言語形のみならず、共通語形が取り入れられていた。
- (d) 一部の調査項目において宮津地区より日置地区における方言語形の維持が目立っている傾向がみられるが、全体的に一般化できる程度の地域差はみられなかった。

1. はじめに

本稿は、2014年と2015年9月のフィールドワークで得られた語彙調査の結果を報告するものである。まず、§2では宮津市における語彙調査について、§3は調査概要を提示する。次に§4で調査結果を提示し、§5では調査結果に基づいた考察を行う。最後に§6でまとめと今後の課題である。

2. 宮津市における語彙調査

宮津のことばに焦点を当てて詳細に論じた研究はさほど多くはないが、周辺地域を対象とした研究には、京都府の方言を網羅的に記述した奥村（1962）や宮津の北部に位置する伊根町の音声生活を調査した室山（1967）などが挙げられる。また、宮津やその周辺地域の語彙を調査した資料として、国立国語研究所が行った『日本言語地図』（以下、LAJ）や宮津と方言区画が隣接している福知山市を調査地を含めた甲南大学方言研究会（2010）の『JR山陰本線京都－和田山間グロットグラム集』がある。これらの資料のうち、LAJは宮津の惣地区^{そう}を調査地としており、本調査で対象とした宮津地区と日置地区は従来の調査で十分な報告がなされていなかった。また、この2地点は宮津市の中でも方言区画が異なると言われていることから、これらの地区で新たに語彙の調査を行うことは一定の価値があ

と思われる。さらに、LAJ の調査対象者は 1903 年以前に出生した男子に限定されており、今回の調査における調査対象者と比較すると 1、2 世代程度の差がある。共通語との接触機会が増え、地域方言の姿が大きく変化してきている現代において、宮津市における方言語彙の使用実態がどのような様相を見せているのかを探る必要があると考えられる。

3. 調査概要

本節では、調査の概要について述べる。まず、§ 3.1 で調査を行なったインフォーマント情報について、§ 3.2 では調査方法について述べる。

3.1. インフォーマント情報

調査は、2015 年 9 月 3 日および 4 日に宮津地区と日置地区で調査票を用いた面接調査を行なった。インフォーマントはいずれも言語形成期を宮津地区、日置地区で過ごし、現在も同地域に居住する 70 代から 80 代の人である。以下では、調査を行なった地域ごとにインフォーマントの情報を示す。

表 1 宮津地区のインフォーマント情報

インフォーマントID	調査時の年齢	外住歴
MBM	84	18-22：京都市上京区
MCF	81	なし
MEM	79	なし
MFM	73	42-45：福井県小浜市多田、45-51：京都府亀岡市北古世町
MGF	73	なし
MMM	72	18-19：東京都
MNF	82	なし
MOF	78	なし

表 2 日置地区のインフォーマント情報

インフォーマントID	調査時の年齢	外住歴
HCM	83	なし
HEM	73	なし
HFM	70	18-19：京都府綾部市位田町
HGF	84	なし
HHF	80	なし
HIF	79	なし
HJF	73	18-21：京都市

3.2. 調査方法

具体的な調査方法としては、(Ⅰ) 方言翻訳式調査 (1 から 4)、(Ⅱ) なぞなぞ式調査 (5 から 16)、(Ⅲ) イラスト提示式調査 (17 から 21) の 3 つの手法を用い、全部で 21 項目の

語彙について面接調査を行った。(Ⅰ)、(Ⅱ)、(Ⅲ)で、何らかの回答が出ない場合には、必要に応じて調査者がその語彙に対する補足情報を提示するようにした。さらに、予想した方言語彙が出なかった場合は、「○○という言葉は使うか」、「○○という言葉は聞いたことがあるか」などの追加の質問も適宜取り入れ、方言語彙の使用意識を尋ねるようにした。

調査項目は、基本的には LAJ の調査結果を基準としているが、自称詞の (1)「私」と (2)「羨ましい」の 2 項目は宮津市の協力者の方から挙げて頂いた方言語彙リストを参照に選定した。以下の表 3 では、調査項目となった語彙リストとその予想語形を示す。

表 3 調査項目一覧

	調査語彙	『LAJ』 地図番号	予想語形
1	私	該当無し	ウラ
2	羨ましい	該当無し	イカメイ
3	明後日の翌日	285	シアサッテ
4	明後日の翌々日	286	ゴアサッテ
5	トゲ(薔薇)	250	ハリ
6	トゲ(木片)	249	トゲ・ソゲ・スイバラ
7	ものもらい	112	メボ
8	瀬戸物	161	カラツ
9	薄い	38	アマイ・ミズクサイ
10	米びつ	166	カラト
11	眩しい	30-31	マブシイ・マバイイ
12	くすぐったい	32-33	クスバイ
13	くるぶし	128	アシクビ
14	竹馬	144	タケンマ
15	肩車	149	カタウマ・カタクマ
16	片足跳び	54	チンカラコ
17	じゃがいも	175	ニドイモ
18	かぼちゃ	180	カボチャ・ナンキン
19	とうもろこし	182	ナンバン
20	つくし	244	ツクツクボウシ
21	捨てる	62	ホカス

上記の表 3 の中で、1~2 を除く調査語彙の予想語形は LAJ の調査結果から得られたものである。予想語形をみると、宮津市では「ニドイモ (じゃがいも)」のような方言語形の使用がみられているが、「シアサッテ (明後日の翌日)」のような共通語形の使用も多く用いられていることがわかる。本稿では、LAJ の調査結果や予備調査の際にインフォーマントから提供された方言語彙の情報をもとにし、現在の宮津市においてどのような語彙が使用されているのかを確認する。したがって、以下の 4 節では予想語形との一致度を確認し (§ 4.1)、実際の調査結果に基づいて方言語形と共通語形の使用と地域差はどのようなものか (§ 4.2) について報告する。

4. 調査結果

本節では、宮津における伝統的な方言語彙に注目し、その調査結果を報告する。全部で 21 項目を調査した結果、LAJ の調査結果などを参照に作成した予想語形とは相異がみられ

た。調査結果の一覧は参考資料として示す。まず、§ 4.1 では先行研究の報告に基づいて作成した予想語形と実際の調査結果を照らし合わせてまとめる。§ 4.2 では語彙項目における語彙使用の傾向と地域差を中心に述べる。§ 4.3 は調査結果のまとめである。

4.1. 予想語形との対照結果

本節では、予想語形との対照を中心に、宮津市における方言語彙の使用状況に関する結果をまとめる。予想語形は、主に LAJ の調査結果に基づいて作成されたものであるが、1960 年代に行われた調査であり、インフォーマントの年齢も本稿の調査より 1 世代上である。そのため、単純に二つの結果を対照するよりは、現在の調査結果を述べるため、過去の調査結果を手がかりにし、実際どのような語彙が使用されているのかに焦点を当てる。

以下の表 4 では、予想語形との一致度を確認するため、複数回答が得られた場合でも予想語形と一致する回答が含まれている場合は「●」として表記した。また、ここでは回答におけるバリエーションについては別途の記号を当てずに表しているが、小節では具体的な回答例を示すことにする。項目の順番は、予想語形との対照結果にしたがって一致する回答が最も多いものを上から並べている。

表 4 予想語形と対照結果

		宮津地区								日置地区							
調査語彙	予想語形	MBM	MCF	MEM	MFM	MGF	MMM	MNF	MOF	HCM	HEM	HFM	HGF	HHF	HIF	HJF	
明後日の翌日	シアサッテ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
トゲ(木片)	トゲ・ソゲ・スイバラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
眩しい	マブシイ・マバイイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ものもらい	メボ	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
薄い	アマイ・ミズクサイ	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	
捨てる	ホカス	-	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	-	●	○	●	
肩車	カタウマ・カタクマ	●	●	○	○	●	○	○	○	●	●	●	●	○	-	●	
羨ましい	イカメイ	●	●	●	○	○	○	○	○	-	-	●	●	○	●	●	
くすぐたい	クスバイ	●	○	●	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	●	●	
竹馬	タケンマ	○	●	○	●	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	
かぼちゃ	カボチャ・ナンキン	○	○	○	○	●	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	
明後日の翌々日	ゴアサッテ	○	○	○	●	○	●	○	●	-	○	○	○	○	○	○	
瀬戸物	カラツ	○	○	○	○	○	-	-	-	●	-	○	●	○	●	○	
くるぶし	アシクビ	○	○	○	●	○	●	-	○	○	○	○	○	○	○	○	
米びつ	カヲ	-	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	
とうもろこし	ナンパン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	
つくし	ツクツクボウシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	
トゲ(薔薇)	ハリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
片足跳び	チンカラコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
じゃがいも	ニドイモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
私	ウラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

【凡例】 ●:予想語形と一致する回答、 ○:予想語形と異なる回答、-:未調査

表 4 の結果から項目によっては、語彙の使用において変化がなく、一致している場合もあるものの、LAJ などの調査結果とは異なる回答が得られた項目も多くみられた。また、男女差や年齢差は目立っておらず、各項目間の違いが大きいことが分かった。上記の表 4 から分かる語彙の使用傾向をまとめると以下の通りである。

(A) 予想語形との一致が多くみられた項目：

「明後日の翌日」、「木片のトゲ」、「眩しい」、「ものもらい」、「薄い」、「捨てる」

(B) 予想語形とは異なる回答が目立った項目：

「薔薇のトゲ」、「片足跳び」、「じゃがいも」、「私」、「つくし」、「とうもろこし」、「米びつ」、「くるぶし」、「かぼちゃ」、「明後日の翌々日」、「瀬戸物」

(C) 個人差が目立っている項目：

「肩車」、「羨ましい」、「くすぐったい」、「竹馬」

つまり、「明後日の翌日」、「木片のトゲ」、「眩しい」、「ものもらい」、「薄い」、「捨てる」などの項目は過去の調査結果と同じ語形の回答が多く、変化が目立っていないものの、「薔薇のトゲ」、「片足跳び」、「じゃがいも」、「私」などの項目においては、予想語形と異なる語彙が使用されていることが分かる。最後に、「肩車」、「羨ましい」、「くすぐったい」、「竹馬」の場合は、個人差があり、予想語形にあがっていた語形を使うインフォーマントと別の語形を使うインフォーマントが混在していることが確認できた。以下の節では、各項目における回答の詳細について述べる。

4.1.1 予想語形との一致が多かった項目

予想語形との一致が多くみられた項目としては、「明後日の翌日」、「木片のトゲ」、「眩しい」、「ものもらい」、「薄い」、「捨てる」があつたが、実際の回答をみると、予想語形と別の形式におけるバリエーションがみられる。詳細については以下の表 5 をみられたい。

表 5 予想語形との一致が多くみられた項目

調査語彙	予想語形	MBM	MCF	MEM	MFM	MGF	MMM	MNF	MOF	HCM	HEM	HFM	HGF	HHF	HIF	HJF
明後日の翌日	シアサッテ	シアサッテ	シアサッテ	シアサッテ	シアサッテ	シアサッテ	シアサッテ	シアサッテ	シアサッテ	シアサッテ	シアサッテ	シアサッテ	シアサッテ	シアサッテ	シアサッテ	シアサッテ
ものもらい	メボ	メボ	メボ	メボ	メボ	メボ モノモライ	メボ	メボ	メボ	メボ	メボ	メボ	メボ	メボ	メボ	メボ
捨てる	ホカス	-	ホカス	ホカス	ホカス	ステル ホカス	ホカス	ステル	ホカス	ホカス	ステル ホカス	ホカス	-	ステル ホカス	ステル	ホカス
薄い	アマイ・ミズクサイ	ウスイ	ミズクサイ	ミズクサイ	ミズクサイ	ウスアジ ウスイ	ウスイ ミズクサイ	ミズクサイ	ウスイ ミズクサイ	ミズクサイ	ウスアジ ミズクサイ	ミズクサイ	ミズクサイ	ミズクサイ	ミズグサイ	ウスイ
眩しい	マブシイ・マバイ	マブシ	マブシ	マブシ	マブシ マバイ	マブシ	マブシ	マブシ	マブシ	マボシ マブシ	マブシ	マブシ	マブシ	マブシ	マブシ	マブシ
トゲ(木片)	トゲ・ソグ・スイバ	トゲ	ソグ	スイバ	スイバ	ソグ	トゲ	スイバ	トゲ	スイバ	トゲ	スイバ	スイバ	トゲ スイバ	スイバ	スイバ

まず、「明後日の翌日」は全員が「シアサッテ」と答えており、予想語形と同じ語彙が使用されていることが確認できた。「ものもらい」の場合、「メンボ」と答えた MBM を除き、

殆どのインフォーマントが「メボ」と答えており、予想語形との一致度が高いことが分かる。

「(ゴミ)を捨てる」や「(味が)薄い」の場合、「ホカス」や「ミズクサイ」などの回答が多かったが、一部のインフォーマントは共通語形である「捨てる」や「薄い」も併用していることが確認できた。「(味が)薄い」の予想語形の一つであった「アマイ」の場合、いずれのインフォーマントも使用しておらず、追加質問で確認した結果、お砂糖などの味の甘さを表すとき以外は使わないという回答がえられた。「眩しい」の場合、予想語形として「マブシイ」「マバイイ」の二つが挙げられていたが、実際の使用状況を確認した結果、多くのインフォーマントが共通語形である「マブシイ」を用いており、MFMのみ「マバイイ」と「マブシイ」の両方を使うと答えた。また、日置地区ではHCMのみ「マボソイ」とも言うかと答えており、「眩しい」に関しては両地区ともに共通語形が優先されるという傾向がみられた。

最後に、「トゲ(木片)」の場合、LAJの調査では「トゲ」「ソゲ」「スイバラ」といった3つの形式が使用されるという報告があったが、今回の調査でもこれらの形式の混在が目立っていた。全体的に「スイバラ」が最も多く、「トゲ」が5人、「ソゲ」と答えたインフォーマントが2名だった。また、面接調査の中で多くのインフォーマントから木片と薔薇などのものを区別して言及するという回答が得られた。二つの項目の調査結果を以下の表6で示す。

表6 「トゲ(木片)」と「トゲ(薔薇)」の使用

調査語彙	予想語形	MBM	MCF	MEM	MFM	MGF	MMM	MNF	MOF	HCM	HEM	HFM	HGF	HHF	HIF	HJF
トゲ(木片)	トゲ・ソゲ・スイバラ	トゲ	ソゲ	スイバラ	スイバラ	ソゲ	トゲ	スイバラ	トゲ	スイバラ	トゲ ソゲ	スイバラ	スイバラ	トゲ スイバラ	スイバラ	スイバラ
トゲ(薔薇)	ハリ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ

上記の表6から分かるように、「トゲ(木片)」はバリエーションがあるものの、薔薇のトゲは、全員が共通語形である「トゲ」で答えており、同じ「トゲ」であっても何を指すものかによってはっきり区分していることが確認できた。以下の4.1.2節では薔薇のトゲのように、予想語形と異なる回答が目立った項目についてまとめる。

4.1.2 予想語形とは異なる回答が目立った項目

予想語形とは異なる回答が多くみえられた項目としては、「薔薇のトゲ」、「片足跳び」、「じゃがいも」、「私」、「つくし」、「とうもろこし」、「米びつ」、「くるぶし」、「かぼちゃ」、「明後日の翌々日」、「瀬戸物」などが確認できた。

表 7 予想語形とは異なる回答がえられた項目（宮津地区）

調査語彙	予想語形	MBM	MCF	MEM	MFM	MGF	MMM	MNF	MOF
トゲ(薔薇)	ハリ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ
片足跳び	チンカラコ	ケンマ	ケンケン	ケンケン	ケンケン	ケンケン	ケンケン	ケンケン	ケンケン
じゃがいも	ニドイモ	ジャガイモ	ジャガイモ	ジャガイモ サンドイモ	ジャガイモ サンドイモ	ジャガイモ	ジャガイモ	ジャガイモ	ジャガイモ
私	ウラ	ボク	ウチ	ボク	ジブン	ワタシ	ワシ	ワタシ	ウチ
つくし	ツクツクボウシ	ツクシンボ	ツクシ	ツクシ ツクシンボウ	ツクシ	ツクシ	ツクシ	ツクシンボ	ツクシ ツクシンボウ
とうもろこし	ナンパン	トウモロコシ	ナンパンキビ	トウモロコシ ナンパンキビ	トウモロコシ	トウモロコシ	ナンパンキビ	トウモロコシ	トウモロコシ
米びつ	カラト	-	コメビツ	カラト	コメビツ	コメシタ	コメビツ	コメビツ	コメビツ
くるぶし	アシクビ	クルブシ	クルブシ	クルブシ	アシクビ	クルブシ	アシクビ	-	ウメボシ
瀬戸物	カラツ	セトモノ	セトモノ	セトモン	セトモノ	セトモノ	-	-	-
かぼちゃ	カボチャ・ナンキン	カボチャ	カボチャ	カボチャ	カボチャ	カボチャ ナンキン	カボチャ ナンキン	カボチャ	カボチャ
明後日の翌々日	ゴアサツテ	イツカゴ	イツカゴ	イツカゴ	ゴアサツテ	イツカゴ	ゴアサツテ	イツカゴ	ゴアサツテ

表 8 予想語形とは異なる回答がえられた項目（日置地区）

調査語彙	予想語形	HCM	HEM	HFM	HGF	HHF	HIF	HJF
トゲ(薔薇)	ハリ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ
片足跳び	チンカラコ	ケンケン	ケンケン	ケンケン	ケンケン	ケンケン	ケンケン	ケンケン
じゃがいも	ニドイモ	サンドイモ ジャガイモ	ジャガイモ サンドイモ	サンドイモ	ジャガイモ サンドイモ	ジャガイモ サンドイモ	ジャガイモ サンドイモ	ジャガイモ サンドイモ
私	ウラ	ワシ ボク	ワタシ ボク	ワシ	ワタシ	ワタシ	ワタシ	ワタシ
つくし	ツクツクボウシ	ツクシ	ツクツクボウシ ツクシ	ツクシ	ツクシ	ツクシ	ツクシ	ツクシ
とうもろこし	ナンパン	ナンパ ナンパンキビ	トウモロコシ ナンパ	ナンパンキビ	ナンパン	トウモロコシ ナンパンキビ	トウモロコシ	トウモロコシ
米びつ	カラト	コメビツ	コメビツ	コメビツ	-	コメビツ	カラト コメビツ	コメビツ
くるぶし	アシクビ	クルブシ	クルブシ	クルブシ	クルブシ	クルブシ	クルブシ	クルブシ
瀬戸物	カラツ	カラツ	-	セトモノ	カラツ	セトモノ	カラツ	ヤキモノ
かぼちゃ	カボチャ・ナンキン	カボチャ	カボチャ ナンキン	ナンキン	カボチャ	カボチャ	カボチャ	カボチャ
明後日の翌々日	ゴアサツテ	-	日にちで言う	イツカゴ	イツカゴ	イツカゴ	日にちで言う	イツカゴ

上記の表 7 と表 8 から分かるように、「薔薇のトゲ」、「片足跳び」、「じゃがいも」、「私」の 4 項目は、予想語形を使用するという回答が全く得られなかった。まず、「トゲ（薔薇）」は 4.1.1 節でも述べたようにすべてのインフォーマントから「トゲ」といった一つの回答しか得られなかった。LAJ の調査結果では「ハリ」が予想語形としてあがっていたが、今回の調査地では用いられていないことが確認できた。「片足跳び」は「ケンマ」と答えた MBM を除き、すべてのインフォーマントが「ケンケン」と答えており、予想語形であった「チ

ンカラコ」はこの地域では用いられていないことが分かった。また、複数のインフォーマントから「足の不自由な人が片足で飛ぶ場合につかうことば」という回答が得られ、遊びとは異なる意味を表す際に用いられることが明らかになった。次に、「じゃがいも」も予想語形であった「ニドイモ」は用いられておらず、「サンドイモ」または共通語形の「じゃがいも」が多く用いられている。最後に、自称詞の使用を確認した結果、自称詞である「私」の場合、予想語形としてあげていた「ウラ」について、宮津地区と日置地区に共通した回答として「自分では使わないことばであるが、聴いたことはある」「昔の人が使っていた」「伊根辺りの魚師や田舎の人が使う」などと答えている人が複数あった。このことから、自称詞の「ウラ」は現在の宮津市では用いられておらず、「ワタシ」「ボク」「ウチ」などが用いられていることが明らかになった。関西方言で多くみられる女性を表す一人称「ウチ」は、MCF と MOF のみ使っており、日置地区で調査した女性のインフォーマント 4 人からはそのような回答は得られず、全員が共通語形である「ワタシ」を使うと答えていた。

「つくし」の場合、予想語形である「ツクツクボウシ」という回答は日置地区の HEM のみであり、多くの人が共通語形である「ツクシ」を使っていたことから LAJ の調査結果とは異なる使用傾向がみられた。「とうもろこし」も予想語形である「ナンバン」は HGF のみが用いており、多くのインフォーマントが「ナンバンキビ」や「トウモロコシ」などの語彙を使用していることが確認できた。「くるぶし」も同じく、予想語形としてあがっていた「アシクビ」は宮津地区の MFM と MMM のみ用いており、多くのインフォーマントが共通語形である「くるぶし」を用いていることが分かった。MOF のみ「ウメボシ」と答えていたが、これについてはさらなる確認が必要であると考えられる。最後に、「瀬戸物」場合、ほとんどのインフォーマントが共通語形の「セトモノ」または「セトモン」を用いていたが、日置地区の 7 人のうち、3 人が予想語形であった「カラツ」と答えていた。

4.1.3 予想語形と別の形式が混在している項目

「肩車」、「羨ましい」、「くすぐったい」、「竹馬」の 4 つの項目に関しては、偏りがみられず、予想語形と別の形式が混在していることが分かった。

表 9 予想語形と別の形式が混在している項目

調査語彙	予想語形	MBM	MCF	MEM	MFM	MGF	MMM	MNF	MOF	HCM	HEM	HFM	HGF	HHF	HIF	HJF
肩車	カタウマ カタマ	カタウマ	カタマ	カタグルマ	カタグルマ	カタグルマ カタマ	カタグルマ	タカンマ	カタグルマ	カタマ	カタグルマ カタマ	カタグルマ カタマ	カタマ	カタグルマ	.	カタマ
羨ましい	イカメイ	イカメイ	イカメイ	イカメイ イカメイ	ウラメイ	ウラヤマシ	ウラヤマシ イカメイ	ウラヤマシ	ウラヤマシ	.	.	イカメイ	イカメイ	ウラヤマシ	イカメイ	ウラヤマシ
くすぐったい	クスバイ	クスバイ	コソバイ	クスバイ	コソバイ	クスグッタイ コソバイ	コソバイ	コソバイ	コソバイ コソバユイ	クスバイ	クスグッタイ クスバイ	クスバイ	コソバイ	コソバイ	クスバイ コソバイ	クスグッタイ クスバイ
竹馬	タケンマ	タケウマ	タケンマ	タケウマ	タケウマ タケンマ	タケウマ	タケウマ	タケンマ	タケウマ タケンマ	タケンマ	タケンマ	タケウマ	タケウマ	タケウマ	タケウマ	タケウマ

まず、「肩車」の場合、「カタウマ」と「カタクマ」の併用が予想されていたが、実際の調査結果からは「カタクマ」が一般的であり、「カタウマ」は **MBM** のみ用いていた。また、共通語形である「カタグルマ」を使うか、「カタクマ」と併用すると答えた人も複数いたことから宮津市において従来の調査では使用が見られなかった形式が現在は使われており、二つが混在されている状態であることが確認できた。次に、「羨ましい」の場合、予想語形であった「イカメイ」がほとんどであったが、共通語形である「ウラヤマシイ」との併用もみられている。また、**MBM**、**MMM** の場合、「イカメシイ」、**MFm** は「ウラメシイ」など、それぞれの使用語形における音声的なバリエーションも確認できた。

「くすぐったい」の場合、「コソバユイ」「コソバイ」「コショバイ」などの音声的なバリエーションが最も目立っていた項目である。予想語形として挙げられていた「クスバイ」のみを使うインフォーマントは **MBM**、**MEM**、**HCM**、**HFM** の 4 人であり、共通語形である「くすぐったい」と併用するという回答も 3 人いた。全体的に、さまざまな形式が用いられ、混在されていることが分かった。最後に、「竹馬」の場合は予想語形である「タケンマ」を使うインフォーマントと共通語形である「タケウマ」を使うインフォーマントが半々ぐらいであり、**LAJ** の調査結果と比べて現在の宮津市では共通語の使用がより進んでいるようにうかがえる。以下の § 4.2 では宮津市における語彙の使用と地区における地域差の観点で取り上げる。

4.2 宮津市における語彙の使用と地域差

上記の 4.1 節では、**LAJ** などの調査結果から得られた予想語形との比較を行い、宮津市における方言語彙の使用傾向についてまとめた。本節では、宮津市において方言語形と共通語形の語彙がどのように用いられているかについて報告する。

4.2.1 宮津市における方言語形と共通語形の使用

以下の表 10 では宮津地区と日置地区における方言語形と共通語形の使用傾向について示す。

表 10 宮津・日置地区における方言語形と共通語形の使用状況¹⁾

調査語彙	宮津地区								日置地区						
	MBM	MCF	MEM	MFM	MGF	MMM	MNF	MOF	HCM	HEM	HFM	HGF	HHF	HIF	HJF
ものもらい	■	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
薄い	○	●	●	●	○	★	●	★	●	●	●	●	●	●	○
トゲ(木片)	○	■	●	●	■	○	●	○	●	★	●	●	★	●	●
捨てる	-	●	●	●	★	●	○	●	●	★	●	-	★	○	●
くすぐったい	●	■	●	■	★	■	■	■	●	●	●	■	■	●	★
羨ましい	●	●	●	#	○	○#	○	○	-	-	●	●	○	●	○
肩車	■	●	○	○	★	○	#	○	●	★	★	●	○	-	●
明後日の翌々日	○	○	○	●	○	●	○	●	-	○	○	○	○	○	○
竹馬	○	●	○	★	○	○	●	★	○	●	○	○	○	○	○
米びつ	-	○	●	○	#	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○
瀬戸物	○	○	○	○	○	-	-	-	●	○	○	-	○	●	○
私	○	●	○	○	○	○	○	●	○	△	○	○	○	○	○
かぼちゃ	○	○	○	○	★	★	○	○	○	★	●	○	○	○	○
とうもろこし	○	■	★	○	○	■	○	○	■	★	■	●	★	○	○
つくし	■	○	★	○	○	○	■	★	○	●	○	○	○	○	○
じゃがいも	○	○	★	★	○	○	○	○	★	★	■	○	★	★	★
眩しい	○	○	○	★	○	○	○	○	★	○	○	○	○	○	○
片足跳び	■	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
くるぶし	○	○	○	○	○	○	-	#	○	○	○	○	○	○	○
明後日の翌日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トゲ(薔薇)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【凡例】 ●:方言語形、■:方言形のバリエーション、○:共通語形、 ★:方言形(バリエーション)と共通語形の複数回答、#:判別不可、-:未調査または未回答															

上記の表 10 にみられる特徴としては、以下の (D) ～ (E) が挙げられる。

(D) 全体的に語彙項目によって方言語形と共通語形に偏りがみられる。

(D-1) 方言語形の使用が目立った項目：

「ものもらい」、「くすぐったい」、「トゲ(木片)」など

(D-2) 共通語形の使用が進んでいる項目：

「トゲ(薔薇)」、「明後日の翌日」、「くるぶし」、「とうもろこし」、「じゃがいも」、「かぼちゃ」など

(E) 一部の語彙項目において宮津地区と日置地区における地域差がみられる。

(E-1) 「トゲ(木片)」、「(味が)薄い」、「肩車」、「とうもろこし」などは宮津地区では共通語形が多かったが、日置地区では方言語形の使用が目立つ。

(E-2) 「つくし」、「竹馬」、「明後日の翌々日」、「私」などは、宮津地区において方言語形が多く用いられるが、日置地区では共通語形の使用が目立つ。

まず、いずれの地域においても方言語形の使用が目立った項目としては「ものもらい」、「トゲ(木片)」、「くすぐったい」などがあり、人間の身体に起きる変化や感覚、動作など

1) 凡例の中で「方言語形のバリエーション」とは、「メンボ(メボ)」のように方言語形の音声的なバリエーションがみられたものを指す。また、「判別不可」とは現段階ではいずれに該当するものか判断できないもの(くるぶしに対して「ウメボシ」という回答)を表す。

と関連する語彙が多いことが分かる。この中で「トゲ（木片）」の場合、一見、人間の身体と直接関連のないようにみえるが、インフォーマントの多くが「木片などに尖っていて、指に刺さると痛いもの」を連想していたことから、このような語彙においては昔から使ってきた方言語形のまま維持される傾向が強いことがうかがえる。

次に、共通語形の使用が目立つ項目には、「とうもろこし」、「じゃがいも」、「かぼちゃ」のような農作物が多く、これらは伝統的な方言語形とともに共通語形も使用される傾向が強いことが分かった。一方、項目によっては宮津地区と日置地区において相反する使用傾向をみせるものも複数みられた。これについては以下の 4.2.2 節で詳細を示す。

4.2.2. 宮津地区と日置地区における地域差

宮津地区と日置地区の調査結果を対照してみると、両地区において地域差がみられた。以下の表 11 は、地域差が著しくみられた項目の出現形を示したものである。

表 11 宮津地区と日置地区において地域差がみられた項目²⁾

	宮津地区								日置地区						
	MBM	MEM	MMM	MFm	MCF	MGF	MNF	MOF	HCM	HEM	HFM	HGF	HHF	HIF	HJF
トゲ(木片)	トゲ	スイバ	トゲ	スイバ	ツゲ	ツゲ	スイバ	トゲ	スイバ	トゲ ツゲ	スイバ	スイバ	トゲ スイバ	スイバ	スイバ
薄い	ウスイ	ミズクサイ	ウスイ ミズクサイ	ミズクサイ	ミズクサイ	ウスアジ	ミズクサイ	ウスイ ミズクサイ	ミズクサイ	ミズクサイ	ミズクサイ	ミズクサイ	ミズクサイ	ミズグサイ	ウスイ
肩車	カタウマ	カタグルマ	カタグルマ	カタグルマ	カタクマ	カタグルマ カタクマ	タナマ	カタグルマ	カタクマ	カタグルマ カタクマ	カタグルマ カタクマ	カタクマ	カタグルマ	-	カタクマ
とうもろこし	トウモロコシ	トウモロコシ ナンバンキビ	ナンバンキ ビ	トウモロコシ	ナンバンキビ	トウモロコシ	トウモロコシ	トウモロコシ	ナンバ ナンバンキビ	トウモロコシ ナンバ	ナンバンキビ	ナンバン	トウモロコシ ナンバンキビ	トウモロコシ	トウモロコシ
じゃがいも	ジャガイモ	ジャガイモ	ジャガイモ サンドイモ	ジャガイモ サンドイモ	ジャガイモ	ジャガイモ	ジャガイモ	ジャガイモ	サンドイモ ジャガイモ	ジャガイモ サンドイモ	サンドイモ	ジャガイモ	ジャガイモ サンドイモ	ジャガイモ サンドイモ	ジャガイモ サンドイモ
つくし	ツクシンボ	ツクシ	ツクシ ツクシンボー	ツクシ	ツクシ	ツクシ	ツクシンボ	ツクシ ツクシンボ	ツクシ	ツクツクボウシ	ツクシ	ツクシ	ツクシ	ツクシ	ツクシ
竹馬	タケウマ	タケンマ	タケウマ	タケウマ タケンマ	タケウマ	タケウマ	タケンマ	タケウマ タケンマ	タケウマ	タケンマ	タケウマ	タケウマ	タケウマ	タケウマ	タケウマ
明後日の晝々日	イツカゴ	イツカゴ	イツカゴ	ゴアサッテ	イツカゴ	ゴアサッテ	イツカゴ	ゴアサッテ	-	日にちで言う	イツカゴ	イツカゴ	イツカゴ	日にちで言う	イツカゴ
糞	ボク	ウチ	ボク	ジツ	ワジ	ワシ	ワジ	ウチ	ワシ ボク	ワジ ボク	ワシ	ワジ	ワジ	ワジ	ワジ

両地域の語彙を調査した結果、上記の表 11 で示した 9 項目において、地域差が著しく現れた。まず、「トゲ（木片）」、「（味が）薄い」、「肩車」、「とうもろこし」などの項目をみると、日置地区では方言語形や共通語との併用が目立っていることがわかる。宮津地区では共通語形の使用の割合がより多く、たとえ、方言語形が用いられた場合でもそのバリエー

2) 表 11 のうち、黒で示した部分は「方言語形」のみ、灰色は「方言語形と共通語形の併記」を意味し、何もないところは「共通語形」のみを表す。

ションは日置地区よりは少ないことが分かった。これとは対照的に、「つくし」、「竹馬」、「明後日の翌々日」、「私」の使用傾向をみると、宮津地区において方言語形が多く用いられる一方で、日置地区では共通語形の使用が目立っていることが分かる。

このような結果から宮津市の中でも地区によって特定の語彙項目の使用においては、地域差があることが明らかになった。

4.3 調査結果のまとめ

以上、調査結果から以下の点が明らかになった。

(イ)「明後日の翌日」、「木片のトゲ」、「眩しい」、「ものもらい」、「薄い」、「捨てる」などの語彙は、予想語形との一致が多くみられた。

(ロ)「薔薇のトゲ」、「じゃがいも」、「私」、「つくし」、「とうもろこし」、「米びつ」、「くるぶし」、「かぼちゃ」、「明後日の翌々日」、「瀬戸物」などの語彙は、予想語形とは異なる回答が目立っていた。

(ハ) 語彙項目によって方言語形と共通語形の使用において偏りがみられる。

(ニ)「トゲ（木片）」、「(味が) 薄い」、「肩車」、「とうもろこし」などは宮津地区では共通語形が多かったが、日置地区では方言語形の使用が目立つ。

(ホ)「つくし」、「竹馬」、「明後日の翌々日」、「私」などは、宮津地区において方言語形が多く用いられるが、日置地区では共通語形の使用が目立つ。

以上の結果から、調査した語彙項目によって傾向の違いがあることが明らかになった。以下の5節では、これらの分析結果とともにインフォーマントとの面接調査から分かった内容に基づき、宮津市方言における方言語彙の特徴について考察を行う。

5. 宮津市における方言語彙の使用

以上、宮津市における方言語彙の使用について LAJ などによる予想語形と使用実態の比較 (§ 4.1)、方言語形と共通語形の使用傾向と地区ごとの異同 (§ 4.2) の2つを中心に分析結果を述べた。これらの分析結果に基づいて考察すると、宮津市における方言語彙の使用は、1966年から1974年に実施された LAJ の調査結果とは異なる語彙が多く用いられていたことが明らかになった。少人数を対象とし、21項目に限定した調査ではあったが、時代の変化に伴い、共通語形の使用がより盛んになり、伝統的な方言語形の使用が進んでいくとみられない結果であった。特に、面接調査の中で回答として出てこなかった予想語形を確認した際、多くのインフォーマントから「子供のときは使っていたが、今は使わないことば」「昔の人が使っていた」「以前、聞いたことはあったけど、自分は使わない」などの説明が多かったことから、宮津市における語彙使用の変化が起きていると考えられる。

語彙項目ごとの傾向をみてみると、両地区共通して人間の身体に起きる変化や感覚、動作などに関連する語彙は方言語形が多く、「とうもろこし」、「じゃがいも」、「かぼちゃ」のような農作物に関連する語彙は共通語形が併記されることが多いなど、人間生活との関連度合いによって傾向が異なることも確認できた。また、このような特徴は語彙項目だけではなく、宮津地区と日置地区といった地域による傾向の違いもみせていた。全体的に、宮津

市中心部から離れた日置地区における方言語形の使用が目立っており、それに比べると宮津地区では共通語形の単独使用が多く、方言語形の回答が得られた場合でも共通語形も使うという回答が目立っていた。このような違いがみられた原因として、両地区における生活環境の差異が挙げられる。宮津地区は宮津駅と近い位置にあり、観光や宿泊業などに携わる人も多いほうであるため、外部との接触も日置地区よりさかんである。それに比べて日置地区の場合は宮津市の中心からやや離れた場所にあり、農業や漁業に従事する人が多かった点から今回のような違いを生み出したのではないかと考えられる。

6. まとめと今後の課題

本稿では、宮津市の方言語彙の使用に関する調査結果について報告した。本稿で報告した内容をまとめると次のようになる。

- (a) 宮津市における方言語彙は共通語形の使用が目立っており、『日本言語地図』における調査結果と異なる傾向がみられた。
- (b) 方言語形を維持する傾向が強い項目には、人間の身体に起きる変化や感覚、動作などに関連する語彙が多かった。
- (c) 農作物の名前や道具などに関する語彙は、以前は方言語形を使っていたが、現在は使わないなどの回答が多く得られ、共通語形の使用が目立っていた。
- (d) 一部の調査項目において宮津地区より日置地区における方言語形の維持が目立っている傾向がみられるが、全体的に一般化できる程度の地域差はみられなかった。

今回の調査から宮津市の中でも地区によって方言語彙の使用傾向が異なることが確認できた。また、LAJ の調査結果との対照から現在、宮津市で用いられている方言語彙には変化がみられていることを確認した。調査の都合上、少人数を対象とし、21 項目だけの結果しか得られなかったが、今後は分析項目についてさらに検討し、より多くの人を対象に調査を実施する必要があると考えている。また、結果の一つとして生活に関連の高い語彙は共通語形の選択が盛んであると思われる結果が得られたが、今回取りあげた調査項目の他にも宮津市においてなじみ度が高い語彙はどう変化しているのかについても検討する必要がある。特に、調査地の一つであった日置地区は漁業系のことばにも差が見られると思われるため、これらに関する語彙についても取りあげ、追加調査を行うことで宮津市における方言語彙の使用がより明確になると考えられる。

【参考文献】

- 大橋純一 (2013) 「秋田県方言の特徴的アクセントおよび音韻に関する調査報告—若年層の動態と意識—」『秋田大学教育文化学部研究紀要 人文科学・社会科学』68, pp.69-7, 秋田大学.
- 奥村三雄 (1962) 「京都府方言」榎垣実編『近畿方言の総合的研究』三省堂 (井上史雄・篠崎晃一・小林隆・大西拓一郎編 (1996) 『日本列島方言叢書 15 近畿方言考 3 滋賀県・京都府』ゆまに書房 再録)

甲南大学方言研究会（2010）『JR 山陰本線 京都一和田山間 グロットグラム集』甲南大学方言研究会.

国立国語研究所編（1974）『日本言語地図』1-6, 国立印刷局.

国立国語研究所編（2006）『方言文法全国地図』2, 国立印刷局.

室山敏昭（1967）「京都府与謝郡伊根町方言の音声生活について」井上史雄・篠崎晃 一・小林隆・大西拓一郎編（1996）『日本列島方言叢書 15 近畿方言考 3 滋賀県・京都府』ゆまに書房.

はん あるん（大阪大学大学院生）

hanarumig@gmail.com

【参考資料】宮津市における方言語彙の調査結果一覧表

			宮津地区							日置地区							
	調査語彙	予想語形	MBM	MCF	MEM	MFM	MGF	MMM	MNF	MOF	HCM	HEM	HFM	HGF	HHF	HIF	HJF
1	私	ウラ	ボク	ウチ	ボク	ジブン	ワタシ	ワシ	ワタシ	ウチ	ワシ ボク	ワタシ ボク	ワシ	ワタシ	ワタシ	ワタシ	ワタシ
2	羨ましい	イカメイ	イカメイ	イカメイナ	イカメイ イカメシイ	ウラメシイ	ウラヤマシイ	ウラヤマシイ イカメシイ	ウラヤマシイ	ウラヤマシイ	-	-	イカメイ	イカメイ	ウラヤマシイ	イカメイ	ウラヤマシイ
3	明後日の翌日	シアサッテ	シアサッテ	シアサッテ	シアサッテ	シアセツテ	シアサッテ	シアサッテ	シアサッテ	シアサッテ	シアサッテ	シアサッテ	シアサッテ	シアサッテ	シアサッテ	シアサッテ	シアサッテ
4	明後日の翌々日	ゴアサッテ	イツカゴ	イツカゴ	イツカゴ	ゴアサッテ	イツカゴ	ゴアサッテ	イツカゴ	ゴアサッテ	-	日にちで言う	イツカゴ	イツカゴ	イツカゴ	日にちで言う	イツカゴ
5	トゲ(薔薇)	ハリ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ	トゲ
6	トゲ(木片)	トゲ・ソゲ・スイバラ	トゲ	ソゲ	スイバラ	スイバラ	ソゲ	トゲ	スイバラ	トゲ	スイバラ	トゲ ソゲ	スイバラ	スイバラ	トゲ スイバラ	スイバラ	スイバラ
7	ものもらい	メボ	メンボ	メボ	メボ	メボ	メボ モノモライ	メボ	メボ	メボ	メボ	メボ	メボ	メボ	メボ	メボ	メボ
8	瀬戸物	カラツ	セトモノ	セトモノ	セトモン	セトモノ	セトモノ	サラ	-	-	カラツ	-	セトモノ	カラツ	セトモノ	カラツ	ヤキモノ
9	薄い	アマイ・ミズクサイ	ウスイ	ミズクサイ	ミズクサイ	ミズクサイ	ウスアジ ウスイ	ウスイ ミズクサイ	ミズクサイ	ウスイ ミズクサイ	ミズクサイ	ウスアジ ミズクサイ	ミズクサイ	ミズクサイ	ミズクサイ	ミズグサイ	ウスイ
10	米びつ	カラト	-	コメビツ	カラト	コメビツ	コメシタ	コメビツ	コメビツ	コメビツ	コメビツ	コメビツ	コメビツ	-	コメビツ	カラト コメビツ	コメビツ
11	眩しい	マブシイ・マバイイ	マブシイ	マブシイ	マブシイ	マブシイ マバイイ	マブシイ	マブシイ	マブシイ	マブシイ	マボソイ マブシイ	マブシイ	マブシイ	マブシイ	マブシイ	マブシイ	マブシイ
12	くすぐったい	クスバイ	クスバイイ	コソバイイ	クスバイ	コソバイ	クスグツタイ コソバシイイ	コソバイイ	コソバイ	コソバイイ コソバユイ	クスバイイ	クスグツタイ クスバイイ	クスバイイ	コショバイイ	コソバイイ	クスバイ コソバイ	クスグツタイ クスバイ
13	くるぶし	アシクビ	クルブシ	クルブシ	クルブシ	アシクビ	クルブシ	アシクビ	-	ウメボシ	クルブシ	クルブシ	クルブシ	クルブシ	クルブシ	クルブシ	クルブシ
14	竹馬	タケンマ	タケウマ	タケンマ	タケウマ	タケウマ タケンマ	タケウマ	タケウマ	タケンマ	タケウマ タケンマ	タケンマ	タケンマ	タケウマ	タケウマ	タケウマ	タケウマ	タケウマ
15	肩車	カタウマ・カタクマ	カタウマ	カタクマ	カタグルマ	カタグルマ	カタグルマ カタクマ	カタグルマ	タカンマ	カタグルマ	カタクマ	カタグルマ カタクマ	カタグルマ カタクマ	カタクマ	カタグルマ	-	カタクマ
16	片足跳び	チンカラコ	ケンマ	ケンケン	ケンケン	ケンケン	ケンケン	ケンケン	ケンケン	ケンケン	ケンケン	ケンケン	ケンケン	ケンケン	ケンケン	ケンケン	ケンケン
17	じゃがいも	ニドイモ	ジャガイモ	ジャガイモ	ジャガイモ サンドイモ	ジャガイモ サンドイモ	ジャガイモ	ジャガイモ	ジャガイモ	ジャガイモ	サンドイモ ジャガイモ	ジャガイモ サンドイモ	サンドイモ	ジャガイモ サンドイモ	ジャガイモ サンドイモ	ジャガイモ サンドイモ	ジャガイモ サンドイモ
18	かぼちゃ	カボチャ・ナンキン	カボチャ	カボチャ	カボチャ	カボチャ	カボチャ ナンキン	カボチャ ナンキン	カボチャ	カボチャ	カボチャ	カボチャ ナンキン	ナンキン	カボチャ	カボチャ	カボチャ	カボチャ
19	とうもろこし	ナンバン	トウモロコシ	ナンバンキビ	トウモロコシ ナンバンキ	トウモロコシ	トウモロコシ	ナンバンキビ	トウモロコシ	トウモロコシ	ナンバ ナンバンキ	トウモロコシ ナンバ	ナンバンキビ	ナンバン	トウモロコシ ナンバンキビ	トウモロコシ	トウモロコシ
20	つくし	ツクツクボウシ	ツクシンボ	ツクシ	ツクシ ツクシンボウ	ツクシ	ツクシ	ツクシ	ツクシンボ	ツクシ ツクシンボウ	ツクシ	ツクツクボウシ ツクシ	ツクシ	ツクシ	ツクシ	ツクシ	ツクシ
21	捨てる	ホカス	-	ホカス	ホカス	ホカス	ステル ホカス	ホカス	ステル	ホカス	ホカス	ステル ホカス	ホカス	-	ステル ホカス	ステル	ホカス